

箱館奉行所

箱館奉行の設置

徳川幕府は享和2年(1802)2月、蝦夷地に蝦夷奉行を設置し、5月に箱館奉行と改めました(前幕領期)。文政4年(1821)12月には松前藩に復領しました。

その後再び、箱館奉行は安政元年(1854)、徳川幕府により対外政策、北辺防備、蝦夷地統治の目的のために設置されました。

当初、函館山麓にありましたが、防備の問題などから現在の場所に移転新築されました。安政4年(1857)から五稜郭の築造が始まり、元治元年(1864)にほぼ完成し、総ての工事が完了したのは慶応2年(1866)でした。

「箱館奉行所」というのは俗称で、工事中は「亀田御役所」と称され、竣工後は正式には「箱館御役所」と称されました。



〔箱館奉行所の古写真 函館市中央図書館蔵〕



タイトル	請求記号
『函館・道南大事典』	K291 ㄨ 5001
『函館むかし百話』	K291 ハ 3001
『北の文明開化』	K291 ハヤ 3001
『函館市史通説編第1巻』	K291 ハ 4003



函館市史デジタル版

特別史跡 五稜郭跡(函館市教育委員会)

箱館奉行所公式ウェブサイト

箱館奉行所と五稜郭

当時、箱館奉行の2つの大きな課題は、箱館御役所及び役宅の増改築ないしは新築移転と、箱館周辺の台場の整備充実でした。

当初のプランを変えながら、五稜郭関係の工事は①掘割・土塁の築造工事、②役宅の新築工事、③五稜郭内への御役所の新築工事の3つに分けて進められました。

西洋式土塁は、中世ヨーロッパの城塞都市を参考にして武田斐三郎によって考案・設計されました。

昭和27年(1952)に五稜郭跡は国指定特別史跡となりました。



タイトル	請求記号
『函館むかし百話』	K291 ハ 3001
『北の文明開化』	K291 ハヤ 3001
『箱館五稜郭物語』	K390 カ 3001
『五稜郭』	K3999 カ 3001
『名城を歩く 23 五稜郭』	K3999 ヒ 6001
『函館市史通説編第2巻』	K291 ハ 4004
『函館市史資料集第26集』	K291 シ 5026



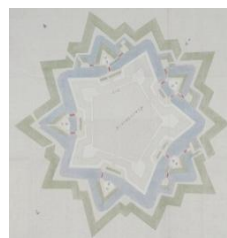
函館市史デジタル版

特別史跡 五稜郭跡(函館市教育委員会)

箱館奉行所公式ウェブサイト



パスファインダー「五稜郭」



〔箱館柳野御陣営之図 函館市中央図書館蔵〕

箱館奉行の人々


後幕領期時代には、竹内下野守保徳、堀織部正、村垣淡路守範正、杉浦兵庫頭などが箱館奉行を務めました。

しかし徳川幕府の崩壊により、箱館裁判所が設置されることになりました。最後の奉行の杉浦兵庫頭は、慶応4年（1868）5月1日に箱館奉行所庁舎の一ノ間で、清水谷総督に引き継ぎました。



〔杉浦誠（梅潭） 函館市中央図書館蔵〕

タイトル	請求記号
『函館・道南大事典』	K291 ㇿ 5001
『函説函館・渡島・松山の歴史』	K291 ㇿ 6001
『箱館をめぐる人物史』	K281 コハ 4001
『最後の箱館奉行の日記』	K08 ㇿ 3002
『杉浦梅潭箱館奉行日記』	K08 ㇿ 4001

-  函館市史デジタル版
- 特別史跡 五稜郭跡（函館市教育委員会）
- 箱館奉行所公式ウェブサイト

箱館戦争と奉行所庁舎の解体

五稜郭は明治元年（1868）10月に旧幕府脱走軍に占拠され、翌年5月に開城されるまで、箱館戦争の舞台となりました。

その後、明治4年（1871）には開拓使により奉行所庁舎や郭内建物の大半が解体されました。

当時に造られた建物では、土蔵（兵糧庫）1棟が残っており、改修もされました。



タイトル	請求記号
『函館の文化財』	K291 ハコ 4001
『特別史跡五稜郭跡復元整備事業報告書』	K3999 トク 6001



- 函館市史デジタル版
- 特別史跡 五稜郭跡（函館市教育委員会）
- 箱館奉行所公式ウェブサイト



- パスファインダー「箱館戦争」

箱館奉行所庁舎の復元

箱館奉行所の復元は、昭和60年（1985）に発掘調査が始まり、平成18年（2006）から工事が開始され、平成22年（2010）7月29日に一般公開が始まりました。

奉行所庁舎は全体で約3,000㎡の広さがあり、役所部分と奉行の役宅部分との2つの部分から構成されていました。今回は行政を司った部分を中心に、玄関や太鼓櫓や「上之格」の部屋などが復元されました。



タイトル	請求記号
『特別史跡五稜郭跡』	K3999 コリ 6001
『特別史跡五稜郭跡復元整備事業報告書』	K3999 トク 6001
『特別史跡五稜郭跡復元整備事業報告書 図版編』	K3999 トク 8001



- 函館市史デジタル版
- 特別史跡 五稜郭跡（函館市教育委員会）
- 箱館奉行所公式ウェブサイト

館内 OPAC、函館市中央図書館 HP の蔵書検索から資料を検索することができます。

〔記号の見方〕



参考となる資料



参考となるサイト



参考となるパスファインダー